

岐阜県の プラスチック

新年互礼会に組合員・賛助会員が参加し、交流と親睦
今年度の技能検定合格者（1級4人、2級33人）に合格証書を伝達
容器包装リサイクル法の政省令が公布される
最低資本金の達成期限が3月末に迫る
デザインの心
組合員の工場訪問
事務局だより

新年互礼会で来賓、組合員、賛助会員がそろって記念撮影



恒例の新年互礼会を盛大に開く

賛助会員招き交流と親睦 技能検定合格者に証書を伝達

工業組合は1月20日午後、岐阜グランドホテルで「新年初役員会」に続いて「新年互礼会」を開催した。役員会は、平成8年度の事業計画や予算を審議する理事会と通常総会の日程などを協議した。新年互礼会は組合員46人が参加、これに来賓7人と賛助会員25人の出席を得て和やかに交流・親睦を深めた。また、懇親に先立って恒例の「技能検定合格証書伝達式」を行い、今年度のプラスチック技能検定試験に合格した1、2級37人の前途を祝ったほか、これまでの特級合格者3人を席上で披露した。

通常総会は 5月24日に

新年初の役員会は当面する組合運営について協議したもので、とくに平成8年度の第28回通常総会を5月24日(金)に岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開催することを決めた。

総会提出議案の審議スケジュールは、3月26日(火)に平成8年度の事業計画案や同予算案について検討する役員会を開き、さらに4月26日(金)には平成7年度

の事業報告案や同決算案及び平成8年度の事業計画案や同予算案などについて審議する理事会を開くなど、総会提出議案の全案件をまとめる。



新年互礼会の席上であいさつする大松理事長(上)と来賓(下)

工業組合では、総会に一人でも多く出席して組合運営に関心を持ってもらうため、総会記念の講演会と懇親会の開催を準備している。



来賓、賛助会員、組合員ら
約百二十人もの人が参加して
和やかに交流と懇親を深めた

「不況から脱出する年に」 大松理事長と来賓のごあいさつ

新年互礼会は児玉副理事長の開会のことばに続き、大松理事長のあいさつで始まった。

大松理事長は、「昨年は阪神大震災で始まり、社会から政治にいたるまで、めまぐるしく動き変わる一年でした。今年は何とか、禍を転じて明るい局面を迎えたいもの…」と前置きし「最近の世の中の情勢を見ると、回答が出ない不確実な時代に入っていると思う。かつて“不確実性の時代”という言葉が流行ったが、現代はその不確実な時代で、あらゆる面で答えが出て来ない。景気の見通しについても同じで、不安感を覚える。低成長はまだ続くという厳しい見方、4年も不況が続いたからそろそろよくなるという見方、まさに様々で不確実です。評論家の話によると“景気はよくなる”とする見方が多いようです。プラスチック業界もその話を真に受け、不況から脱出し、今年こそ明るい年になるように努力していきたい」と呼び掛けた。

続いて来賓の田中孝二県商工労働部中小企業指導課長と羽淵友二中小企業団体中央会副会長の二人からあいさつがあった。

田中中小企業指導課長は「新年に入って景況は、緩やかながら回復に向うと思われるが、国際競争の激化、生産部門の海外シフト、価格破壊の進展などにより、中小企業を取り巻く経営環境は相変わらず厳しい。また、プラスチック業界を取り巻く環境も、プラスチック廃棄物の処理・再資源化や価格破壊の問題、製造物責任法への対応等、幾多の課題を抱えて大変に厳しい。貴組合におかれては、こうした経営環境の変化に的確に対応し、業界の一層の振興・発展に向けて事業の展開を図られ、業界の活性化にご尽力いただくことを期待する」の田辺正美県商工労働部長のメッセージを伝えた。

また、羽淵中央会副会長は「プラスチック産業は、すべての業界につながる業界。この会場へ来る前、中部通産局長の経済講話を聞きましたが、その話の中で、昨年は大型量販店の家電製品が13%も伸びたといわれた。それはワイドテレビ・、パソコン、携帯電話機などと、生活の中に入り込んできた新しい機器であるが、いずれもプラスチック産業と関連している。どうか工業組合の会員は手を携え、新しい技術で世界に向けて発進できる商品開発を行い、難局を切り開いてほしい」と組合員を激励した。

互礼会の席上で検定合格者を励ます

1級4人、2級33人を招き証書伝達



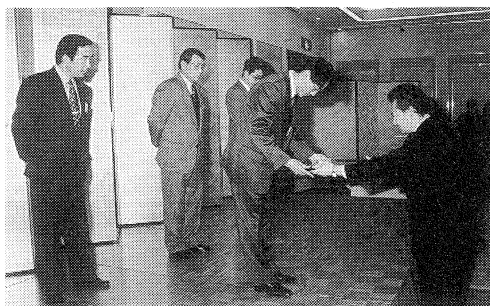
検定合格者が全員そろって記念撮影

席上に特級合格者も招いて披露

工業組合は新年互礼会に先立って恒例の「技能検定合格証書伝達式」を行い、今年度のプラスチック技能検定試験に合格した1級4人、2級33人の前途を祝った。

今年度の技能検定は特別講習会の実施、検定機種の更新、検定会場の整備、さらには受験者の意識向上や関係者の努力が実り、かつてない合格率75%という好成績を上げた。なかでも1級の小森秀彦さん（岐阜プラスチック工業）は県職業能力開発協会会長表彰、2級の西部浩申さん（武藤化成工業所）は県知事表彰、同篠田治さん（岐阜技研ポリマー）は県職業能力開発協会会長表彰を受賞した。伝達式は組合員ら関係者が見守る中で、大松理事長が合格証書、技能士章を手渡し激励した。

なお、これまでの特級合格者も招いて披露した。平光完司さん（岐阜技研ポリマー）野々村満司さん（岐阜プラスチック工業）井藤正司さん（ムトー精工）の3人で、記念品を贈った。



上から特級、1級、2級の合格者表彰

青年部も新年互礼会開く

大松理事長の講話を聞き懇親

工業組合の青年部は1月13日、岐阜市内にあるサンピア岐阜で「青年部新年互礼会」を開催した。互礼会は川瀬忠雄部長の「昨年社会、政治ともに不安の一年に終始し、プラスチック業界もまた材料高の製品安の業況が続き、良くなかった。新年こそ、こうした悪環境を乗り越えて行きたい。青年経営者は、今こそ新鮮な活力を発揮する時だと思う」とあいさつした。続いて青年部顧問でもある大松利幸工業組合理事長の講話を聞いた後、懇親会を行った。

次は、大松理事長が行った講話の主な内容。

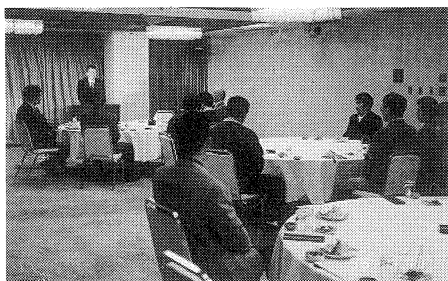
東アジアの成長に二つの見方あり

○…昨年を振り返ると、石油化学業界もまた価格破壊の様相を呈したといえる。とくに昨年の4月、米国経済が階段を転げるかの様に落ちはじめ、また、欧州経済をリードしてきたドイツ経済も失速をはじめると、世界の経済がおかしくなってきた。日本の円高は解消しつつあるのに、ドイツはマルク高となってきた。

しかも欧州、米国ともにプラスチック原材料



大松理事長を囲んで青年部全員が記念撮影



組合青年部の新年互礼会

がずるずる下がってきた。これには中国が輸入関税を引き上げ、事実上の輸入規制に踏み切ったことも影響したという。

○…世界経済という大きな波の中で、日本の石油化学業界、とくに加工業界は揺り動かされている。決して海外の動きを見逃すわけにはいかない。近年、世界の動きの中で注目したいのは中国を中心とする東アジアの動き。中国と周辺各国の経済成長率は著しく高く、今年も6～10%の伸びが見込まれる。石油化学業界はこの伸びる一方の市場に対し、魅力を感じているものの、カントリーリスクが心配である。

中国と台湾の間に一触発の緊張がみなぎり中国の軍事増強やいろんな面での反米的な動きが報道されている。北朝鮮は食料難から5月には底を突き、暴動が起きるのではないかと噂される。東アジアの緊張は高まるばかりである。

○…「東アジアはますます伸びる」といわれる半面で「早晩、中折れするだろう」という見方がある。いくら最新の機械や設備を整えても、使いこなし、新しく創造する技術が養われないと、それ以上の成長はありえないからだ。

今後、世界の動きの中で日本に大きな影響を与えるのは、やはり東アジアである。成長の動きがどのように展開していくのか見守っていききたい。

容器リサイクル法の政省令が公布

施行期日や分別収集などが明示される

昨年12月15日に施行された容器包装リサイクル法（容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律）に関連する政省令が、施行に先立ち12月14日に公布された。

P E T ボトルは 9 月 4 日から適用

政令では①施行期日②再商品化義務の適用の免除事業者③適用の猶予事業者④適用猶予の容器包装一の4点が明記された。省令では①市町村が行う分別収集基準②適用される特定容器の種類③分別収集される容器包装廃棄物の保管施設の設置基準④特定容器の製造や利用等を他人に委託する場合に自ら再商品化の義務を負うことになる委託の範囲⑤その他、再商品化計画の策定、指定法人の監督に関する規定一の5項目。

このうち施行期日は▽定義、基本方針の策定指定法人に関する規定は平成7年12月15日から▽市町村、都道府県の分別収集計画に関する規定が平成8年6月15日から▽分別収集、再商品化の実施に関する規定が平成9年4月1日からとそれぞれの施行日が定められ、容器包装のリサイクルはいよいよ実施段階に入っていく。

ただし、一定の中小企業や一定の容器包装は平成12年3月31日まで適用が猶予される。プラスチック製品では平成9年4月1日から適用となる飲料水としょうゆ用のPETボトル以外のプラスチック製容器包装（箱及びケース、びんたる及びおけ、カップ形の容器、皿、くほみを有するシート状の容器、チューブ状の容器、袋容器のふたなど）が猶予対象になる。

省令の中でプラスチックと関わりのあるのは分別収集基準の規定である。

PETボトルについての規定では①10トン車1台分程度の量であること②他の素材の容器包装が混入していないこと③容器包装以外の異物が付着・混入していないこと④他のプラスチック製の容器包装が混入していないこと⑤PET製以外のふたが取り外されていること⑥洗浄されていること⑦圧縮されていること一の7つの条件が付けられた。

容器包装リサイクル法とは…

容器包装リサイクル法は、平成7年6月9日に成立、同6月16日に公布、同12月15日に施行されたプラスチック製容器やびん、缶、紙などの容器包装ごみを引き取り、リサイクル義務を企業に負わす法律。その詳細は会報121号、123号で紹介したとおりである。

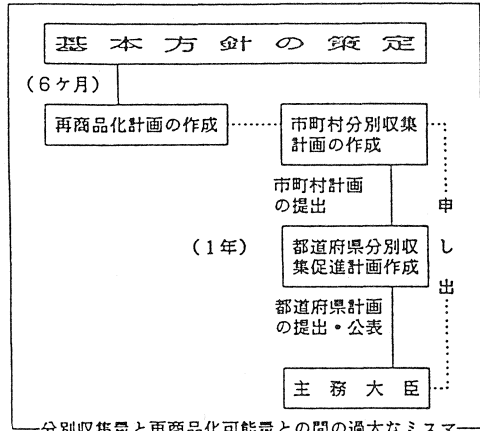
法律の目的は、リサイクルによって増え続けるごみを減らすため、容器包装に使われたごみを分別収集し、再商品化を図る点にある。その

図式は、プラスチック、びん、缶、紙などの容器包装ごみを分別排出し→市町村が分別収集を責任をもって行い→事業者がこれを引き取り責任をもってリサイクルする、というもの。

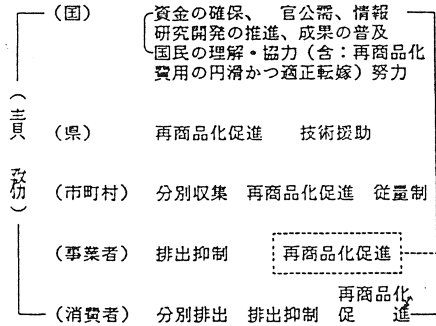
リサイクル義務を負う事業者は、販売する商品に特定容器を用いる事業者、特定容器等を製造する事業者。百貨店やスーパーなどの販売時に特定の包装を用いる事業者。ただし、製造業の場合で従業員20人以下、小売業の場合は5人以下など要件を満たす小規模事業者は適用除外され、中小企業は3年間、（8ページへ続く）

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 のフレーム

(3年毎5年を一期)



分別収集量と再商品化可能量との間の過大なミスマッチの防止のための調整など総合的かつ計画的推進



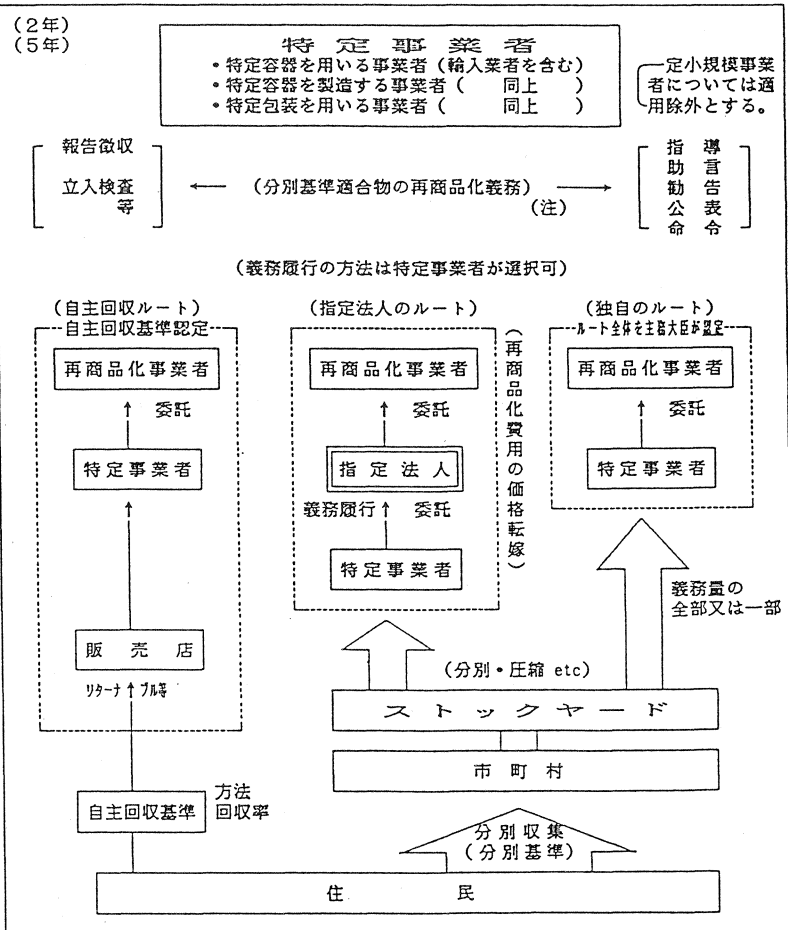
再生資源利用促進法 (リサイクル法)

再生商品化物利用義務

指定法人
(民法34条)

- 再商品化.....再商品化業務規定(方法、料金など)
- 事業計画書・予算書

報告
立入検査
監督
命令
取
消



(注) 分別収集されたことにより、市場において自律的に(有償)取引され、消費される製品(有価物)となった場合には、再商品化計画及び再商品化の義務の対象とならない。

義務が猶予される。実際にはリサイクル義務を負う事業者が最初の費用を負担し、公益法人をつくって処理するか、リサイクル業者に委託することになる。

厚生省では、制度が軌道に乗った段階での企業負担は全国で約1千億円と試算している。

法律ではこのコストを製品価格への転化を容認、最終的には消費者の負担を認めている。

通産省では、排出するごみは全体の30%程度を占めると見ており、施行5年後にはその30%ぐらいを回収し、再商品化へ持ち込みたいとしている。

容器包装の再商品化への共同の法人

37業界団体が団結、効率的事業化めざす

容器包装リサイクル法の施行にともない、日本プラスチック工業連盟、PETボトル協議会、家電製品協会、日本百貨店協会など37の業界団体は「指定法人」の設立に向けて動きだした。経団連と日本商工会議所が設立を呼びかけたもので、順調に進めば今夏にも容器包装のリサイクルを行う財団法人を発足させ、業界団体加盟各社から委託を受け、容器包装廃棄物の再商品化事業に乗り出すことになる。

これは産業界が一般廃棄物の60%を占める容器包装の再資源化促進に向け、大同団結して取り組もうとするもので、効率的なリサイクル体制が構築されることに関心を集めている。

経団連などが各団体に呼びかける

容器包装リサイクル法では、PETボトルやガラスびん、缶、紙などを製造・使用する事業者を「特定事業者」に指定、容器包装の再商品化を義務づけている。その際、特定事業者がばらばらに再商品化を行うのではなく、指定法人を設立、一括して再商品化事業を委託し、特定事業者のコスト負担を押さえる方式をとることになる。

再商品化義務を代行する指定法人は、国の認可を得て設立されるが、各業界団体ではこれまで

で個別に設立を検討してきた。しかし、経団連などでは「主要関係団体が一つの組織を形成した方が、より効率的な運営ができ、リサイクル処理の促進にもつながる」と判断した。

基本財産3億円の財団法人が有力

このほど各業界団体に対し「共同の指定法人設立」の呼びかけを開始したところで、新設する指定法人の形態は、財団法人と社団法人の二つの方法があるが、弾力的な運営ができる財団法人とする案が有力である。その場合、基本財産は約3億円とし、各業界が共同で搬出する。とくに法人には、消費者や市町村など自治体の意見を反映させていくため、評議員会も設置する考えである。

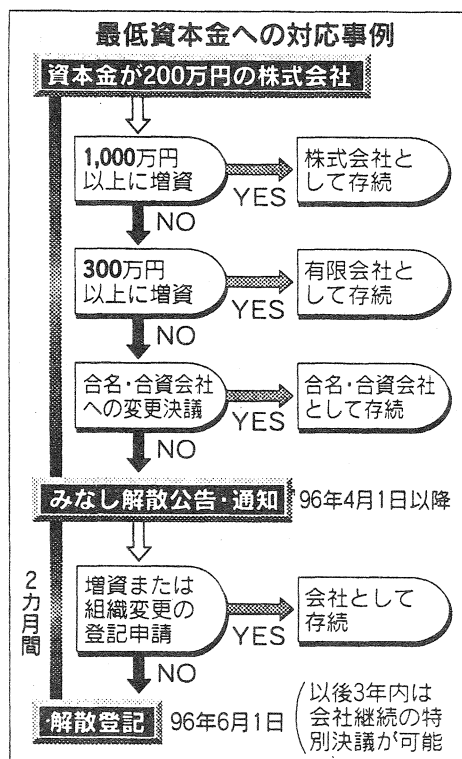
すでに容器包装リサイクルシステムが構築されている業界や企業は、独自に再商品化を行った方が有利とする見方もあり、設立までに各業界、企業との突っ込んだ協議も必要である。

指定法人の設立協議に参加する業界団体は通産省関係がPETボトル協議会、日本プラスチック工業連盟、日本ガラスびん協会、古紙再生利用促進センター、全日本紙器工業組合連合会など17団体、農水省関係が13団体、大蔵省関係が3団体、厚生省関係は2団体が予定される。

未達成企業全国で90万社

「最低資本金の達成期限3月に迫る」

株式会社1千万円、有限会社3百万円という商法で定められた最低資本金の達成期限が、3月末に迫っている。法務省などによると、全国で約90万社（うち株式会社は約50万社）が未達



成で、今年6月には解散を迫られる企業が約60万社に達するとする見方もある。

法務省などによると、休眠会社を除くと全国には約320万社の株式会社と有限会社がある。これまでは株式会社35万円、有限会社では10万円の資本金があれば、会社としての活動ができた。平成2年の商法改正で大幅に引き上げられ今年3月末までに最低資本金の達成が義務付けられた。中小企業の経営体質を強化し、債権者や従業員を保護する点にねらいがある。

未達成企業の大部分は零細企業に

今後、期限までに達成しなかった会社は官報で公告され、5月末までに増資するか合名・合資会社などへ衣替えしないと、強制的に解散させられる。解散すると、営業活動はできなくなり、宅地建物取引業やホテル・旅館業などの各種免許は失効することになる。未達成の大半は零細企業とみられ、経済全体に深刻な影響はないとする見方もある。

国税庁によると、未達成企業の中には節税目的のペーパーカンパニーも多く「整理されれば税収が増えることになる」という観測もある。また、法務省民事局は「解散が予測される企業と取引しているところは、契約内容を十分に検討する必要がある」と注意を喚起している。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX®

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6320(大代表) (千100)

デザインの心ー5

『デザイナーと産地の出会い』

岐阜県プラスチックデザイン協会

昨年の暮れ、日本の伝統工芸産地活性化のモデルケースとして大きな話題を呼んだ福井県武生市にある「タケフ ナイフ ビレッジ 協同組合」を訪ねた。見学に際し、そこで得た当協同組合活動資料からその概略を紹介したい。

武生市は福井県のほぼ中央、県内第2の人口をもつ。主な工業製品は、金属、プラスチック、精密機械、民生用電気機械器具の部品等であり、特産工業品には絹織物、紙、眼鏡フレーム、漆器、それに対県比90%強の製造出荷額を占める打刃物がある。

この越前打刃物と呼ばれる産地の歴史は、七百年昔、京都の刃匠千代鶴国安が武生の地で刃剣をつくる傍ら「鎌」を製作するようになったのが始まりとされ、以来、農業用刃物の生産地として、北陸独特の行商を通じて江戸時代には全国第一位の生産量を誇る。その後生産量の減少や品質の低下をみる時期もあるが、昭和初期には絹織物業の発達にともなう桑切包丁や桑切鎌の生産、菜切包丁や稲刈鎌の需要の高まりにより比較的順調に推移し、昭和54年には包丁、鎌、鉋、刈り込み鋏が全国打刃物業界で初めて伝統的工芸品として国の指定を受ける。しかし現在では、農作業の機械化、火造り鍛造による錆びる包丁離れが著しく、全国に占める出荷額の割合は数%に過ぎず、産地の地位は確実に低下している状況である。

こうした産地の現況を打破すべく、危機感を抱く若手後継者グループが「武生刃物工業研究会」を設立する。武生市工業試験場をより所に、日本古来の打刃物の復元化、標本づ

くりの実現等、意欲的に勉強会を開始し、そして’82年試験場によりインダストリアルデザイナー川崎和男氏が紹介される。試験場の登用によるデザイナーと若手職人グループが結びつく動機づけがなされ、ここに産地存続を賭けた全く新しい組織が誕生する。これが川崎和男氏が提示した産地活性化プラン「タケフナイフビレッジ」という産地ブランド設立であり、IDの導入による商品化計画であった。

タケフナイフビレッジが掲げるポリシーには、これからの伝統工芸産地のあり方を示唆するものが多い。例えば、①単なる量産量販体制ではなく「切る」モノの質的向上をめざした製販体制の確立。②伝統を大切にすることが故の伝統性の拒否（伝統と保守は同一でない）。③工芸作家ではなく刃物職人として伝統的かつ現代的商品づくり。④造り手であると同時に使い手である。⑤モノづくりへの理解が得られる産地環境づくり。…などがある。他業種の我々にも造り手としての知略を思い知らされるようである。その後、越前打刃物産地組合連合会の承認を得て、独立した協同組合を営む。アルタスという包丁のAXISギャラリーでの発表会、’83デザインフォーラムでの銀賞、越前の漆器、和紙とともに開催した「越前若狭物語」etc、数多くの反響と話題を振りまいたことは衆知のとおりである。

優れたディレクター（デザイナー）との出会いが産地に飛躍的な活力をもたらした事実は、かの安土桃山時代、古田織部が、茶湯者の好尚（テスト）で美濃の地に豊かな潤いと独自性を創り出した事実と重なるように思える。

工業技術センター／Y・Hasegawa

本社事務所と発送センターを完成

(株)多喜プラスチック

今回の工場訪問は、本社事務所と発送センターを新築・移転した(株)多喜プラスチック(山県郡美山町中洞1044-3、高井多喜男社長、資本金1,000万円、従業員パートのぞき35人)を訪問した。新本社事務所は、岐阜から洞戸に向う国道256号線を北上し、美山町の入口に完成した美山第一トンネルを抜けたところ。

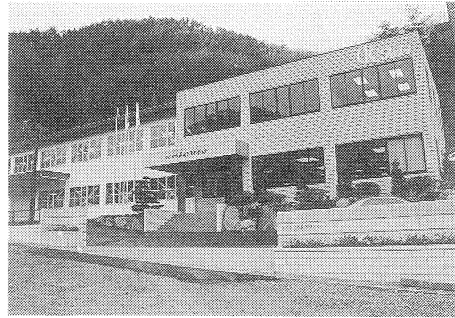
この国道256号線は美山町内で改良工事が進み、2年後には約5kmの区間に三つのトンネルを建設、面目一新する。新本社はその新しい道路沿いに建ち、まるで学校のようなだ。

新社屋は創業30周年のメモリー

さっそく新社屋に高井社長を訪ねると「昨年末の12月15日から営業開始したばかり。何年も前から夢を描いてきた念願がやっとかなった」と説明する。高井さんがプラスチック成形にかかったのは昭和35年、東京の工業部品メーカーへ初就職した時。ここで5年間、みっちり技術を修得してUターン、成形加工を開始した。



新本社と並ぶ発送センター。早くも本格稼働



完成した新本社

それ以来、美山の特産・水栓バルブをはじめとする水回り用品のプラスチック成形に取り組み昨年は創業して30年になる。

念願とは「創業30周年を迎えるのを機会に、各地に設けた3つの成形工場と、協力10工場を結びつける新本社を建設する」ことだった。その努力が実って完成した本社事務所の規模は、約1,650平方メートルの用地に2階建て延べ約1,060平方メートルの大きさ。北側3分の2の1階は発送センター、その2階にはアッセンブリーや二次加工を行う工場も設けられた。

高井さんは「夢叶い受発注と発送のセンターが実現したので、今年は生産3工場の整備に取り組む」と話す。計画では柿野工場に成形機を集約、主力成形工場とし、本社工場だった中洞工場を金型専門工場に独立、また美濃市片知の美濃工場はアッセンブリー工場として充実を図る。

肝心なことは人材。高井さんの胸にはすでにビジョンが描かれている。長男の宏児さん(28)を専務に配して生産や事務部門の責任をもたせ、金型部門は、修業中の次男・伸児さん(21)に責任をもたせる。帰社するのは2年後、高井さんの夢は膨らむばかりだ。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□新年互礼会に多くの組合員が参加□

工業組合は新年初行事として1月20日、岐阜グランドホテルで「新年互礼会」を開催しましたが、多くの組合員に参加していただき、交流・親睦を図ることができました。

この互礼会に先立って新年初役員会を開き、当面する組合運営について協議し、平成8年度の通常総会を5月24日(金)の午後3時から、岐阜グランドホテルで開催することに決めました。当日は記念講演会、その後には懇親会を予定しております。

一人でも多くの組合員が出席され議案審議に、また、懇親会に参加され、交流・親睦の輪を広げてください。

□インターネットなどで技術講演会□

岐阜県プラスチック技術研究会と工業技術センターは、3月5日午後1時30分から工業技術センター講堂で「技術講演会」を開催します。講演テーマは3つあり、その内容は①ナビスタ(株)市場開発グループの村田重男氏の「プラスチックの表面加飾技術」②NTTデータ通信(株)第三産業システム事業部の清水貴志氏の「ラビットプロトタイプングシステムの現状」③工業技



新年の初役員会

術センターの電子情報部職員による「インターネットについて」一で、参加費は無料。

希望は工業技術センター内の岐阜県プラスチック技術研究会まで。TEL058-388-3151。

□射出成形の技能検定受検者を募集□

工業組合は新年度も「プラスチック射出成形技能検定」を実施することになり、近く受検者を募集します。新年度の前期分として、1級、2級を実施し、後期には特級を予定しています。

岐阜県のプラスチック 1995 127号

平成8年2月15日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内安之

ポリエチレン

スミカセン

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート

ポリプロピレン

住友ノーブレン

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット

メタアクリルシート

スミペックス

メタアクリル樹脂

スミペックス-B

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプレン

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

出光の石油化学製品

ポリスチレン

スチレン系耐熱樹脂

ポリカーボネート

GFPET

ポリプロピレン

高密度ポリエチレン

直鎖状低密度ポリエチレン

カルブ®



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎052-204-6051~3

ShinEtsu 信越PVC

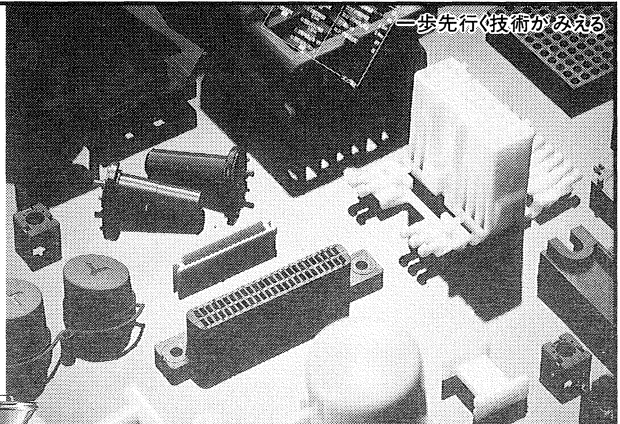
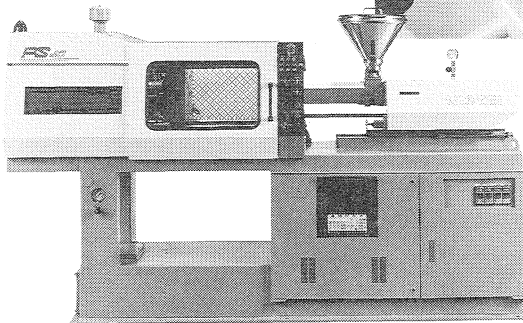
生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

精密成形を究めると PSシリーズになる。

最新の電子コントローラを搭載し、射出性能と操作性を向上させ、FA対応においても一層の高性能化を図りました。新感覚の生産工場を実現する価値ある射出成形機、それがNISSEIのPSシリーズです。



一步先行(技術がみえる)

NISSEI

日精樹脂工業株式会社

名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555(代)

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎0564-52-1430

三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716

●本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町商業2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

●東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪

●営業所 / 全国11ヶ所 ●出張所 / 全国20ヶ所 ●海外サービスステーション / 28ヶ所

ハイテクノロジーに挑戦



セラミック専用機

MEIKI

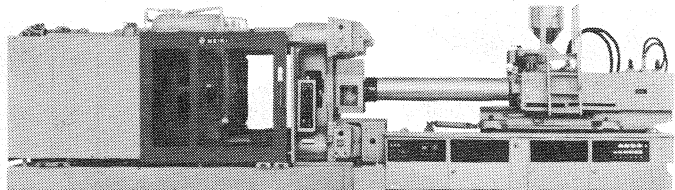
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



ディスク専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社 **名機製作所**

本社・工場
〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>48-2111(代)

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は...

JSR 合成樹脂ワイドセレクション

JSR ABS

イッパンヨウ
コウキノウ

ツヤクセシヨウ
コウコウタクソウ

JSR AES

タイコウセイジュシ

JSR XT

チヨウタイネツジュシ

JSR NC

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NF

ジコシヨウカセイジュシ

JSR MBS

PVCキョウカヨウジュシ

JSR EXCELLOY

フクゴウガタタイネツジュシ

JSR CONDUCTOR

ドウデンセイジュシ

JSR AS

JSR RB

JSR TR

JSR SIS

NYLON 46

NYLON 6. PET-G

MAXLOY

DYNA FLEX

LINK FLEX

コウキノウガタASジュシ

フタジエンジュシ

ネツカンセイエラストマー

ネツカンセイエラストマー

コウキノウポリマーアロイ

エラストマーケイフクゴウザイ

日本合成ゴム株式会社

JSR

東京都中央区築地2-11-24

☎(03)5565-6537

大阪支店 ☎(06) 203-0041

名古屋支店 ☎(052)571-1231

広島支店 ☎(082)221-7252



活きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 粒状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® **ABS**

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

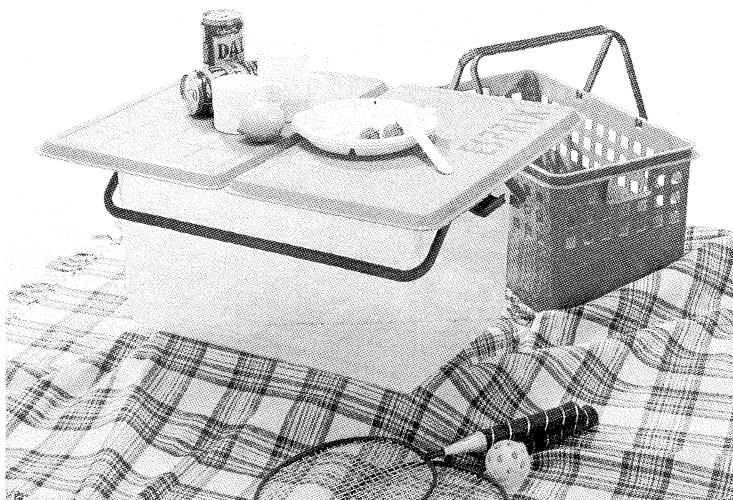
ESPRIX EARTH SPIRIT

エスプリックス

行きはボックスとバスケットにいっぱい詰めて出発。ランチタイムにフタを開けばテーブルに早変わり。帰りは、バスケットをボックスに入れコンパクトに収納できる便利なレジャーボックスです。(フタの内側は、収納スペースになります。)



ボックスがテーブルに早変わり



ダブルボックス

 **リス株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社：岐阜市神田町9丁目25番地（大岐阜ビル6階）
- 生産本部：各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業株
- リスバック株
- リス株
- 東北リス株
- 東京リス株
- 大阪リス株
- 四国リス株
- 九州リス株
- リスエンジニアリング株